

【出題意図】

食・栄養・健康に関する実態や課題について、図表から情報を読み取り、自分の意見を述べる形式を基本としています。

◆求められる力◆

- ・グラフや表などの数値データを適切に読み解く(要点に沿って具体的な数値を示す)
- ・指定された字数で話の流れを作って、時間内に記述する(指定された文字数の9割以上が目安)
- ・論理的で首尾一貫した文章を書く(問題文の指示に従い、読み取った事実の記述とそれに対する自信の考えを基本的に論理展開する。また、適切な表現、言葉遣い、文章構成を意識する)
- ・適切な表題をつける

出題年度:2026年度

【模範解答】(解答のポイント)

<問2>

1. グラフから読み取れること(避難所の食事と必要栄養量の確保状況)

グラフによると、能登半島地震の福祉避難所で提供された食事のエネルギー・栄養素供給量は、70歳以上高齢者の必要量を下回っていることがわかる。エネルギーは男性約60%、女性約80%、たんぱく質は男性約80%であり、カルシウムは男女ともに40%に届いていない。

2. 避難者への影響

避難生活が長期化した場合に栄養素摂取量が慢性的に不足し、健康を害する恐れがある。特に、高齢者や子ども、病気を持っている人など社会的弱者においてはより深刻な問題であるといえる。

3. 食・栄養・健康の観点から必要な対策や取り組み

- ① 備蓄食品の量や種類を充実させる。特に長期間保存可能な肉や魚、野菜類を含む備蓄食品を準備する。また、乳児用の粉ミルクや、病気の人や高齢者用の食品も十分な量と種類を備蓄する。
- ② できるだけ早く、炊き出しなどにより栄養バランスの良い食事を提供できる体制を整える。被災した施設が単独で実施することは難しいので、行政による支援体制やマニュアルを平時から整えておくことが求められる。その際に、限られた食材で栄養バランスの良い献立を立てることができ、病気などで配慮が必要な方に対応ができる管理栄養士が派遣されるとよい。
- ③ 大規模災害に対しては平時からの備えと速やかな支援が重要である。